

須坂市小中学校の適正規模等に関する教職員アンケート結果

1 調査の目的

須坂市では、急激に少子化社会が進み、今後、児童生徒数はますます減少していくことが予想される。将来を展望した小中学校の適正規模や適正配置について、総合的に検討するための基礎資料とする。

2 調査方法

- (1)調査対象 市内の小中支援学校の教職員 352人
 (2)調査方法 学校を通じて配布。回答はインターネット
 (3)調査期間 2022年10月14日～11月21日
 (選択肢に誤りがあり、問2-3と問2-4は12月16日～1月6日に再調査)

3 回収率 96.9%(回収数 341/配布数 352)

4 調査項目

回答者自身に関する設問3問、1学年あたりの学級や1学級あたりの児童生徒数、通学時間、学校数などに関する設問15問と自由記載の設問1問の計19問。

【設問一覧】

問1-1	あなたが勤務している学校の校種を教えてください
問1-2	あなたが勤務している学校名を教えてください
問1-3	あなたの年齢を教えてください
問2-1	小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-2	「問2-1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-3	中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか
問2-4	「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-5	小学校の1学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか
問2-6	「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問2-7	中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか
問2-8	「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください
問3-1	小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問3-2	中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか
問4-1	学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問4-2	須坂市の子供たちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか
問4-3	学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか
問5-1	少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか
問5-2	「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きします。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか
問6	その他、学校教育についてご意見等ございましたらご記入ください

5 教職員アンケート結果の概要

(1) 回答者の属性 【問 1-3】

- ①回答者の年齢は、50代(40%)がもっとも多く、2番目に40代(24%)、3番目に30代(16%)となっている。

(2) 1学年あたりの学級数について

・小学校1学年の学級数 【問 2-1】【問 2-2】

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(84%)との回答がもっとも多く、2番目が「4学級以上がよい」(9%)となっている。
- ②「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(178)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(167)、3番目に「1 社会性を養う機会に恵まれる」(96)となっている。

・中学校1学年の学級数 【問 2-3】【問 2-4】

- ③中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(65%)との回答がもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」(28%)となっている。
- ④仁礼小や豊丘小、須坂支援学校では「複式学級でもよい」との回答が他の学校にくらべて多い。
- ⑤「4～6学級がよい」と回答した人の理由では「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(104)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(96)、3番目が「4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる」(76)となっている。

(3) 1学級あたりの人数について

・小学校1学級の人数 【問 2-5】【問 2-6】

- ①「30人以下が適当」(72%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(26%)、3番目が「35人以下が適当」(2%)となっている。
- ②「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(172)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(116)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(76)となっている。

・中学校1学級の人数 【問 2-7】【問 2-8】

- ③「30人以下が適当」(78%)との回答がもっとも多く、2番目が「35人以下が適当」(16%)、3番目が「20人以下が適当」(6%)となっている。
- ④「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(171)がもっとも多く、2番目に「2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる」(95)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(91)となっている。

(4) 通学時間について 【問 3-1】【問 3-2】

- ①小学校でも中学校でも「30分以内」の回答が6割を超えもっとも多い。2番目は小学校では「15分以内」(28%)、中学校では「45分以内」(14%)となっている。

(5) 学校で取り組む課題について 【問 4-1】

- ①「2 学力の向上」(231)がもっとも多く、2番目が「1 子どもの安全・安心の確保」(222)、3番目が「7 特別支援教育の充実」(172)となっている。

(6) 子どもたちに育みたい能力について 【問 4-2】

- ①「4 他者を思いやることができる心」(202)がもっとも多く、2 番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(165)、3 番目が「困難に負けず、たくましく生き抜いていく力」(155)となっている。

(7) 学校への人材配置について 【問 4-3】

- ①「1 一般教員の増員や加配」(317)がもっとも多く、2 番目が「5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置」(192)、3 番目が「3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置」(146)となっている。

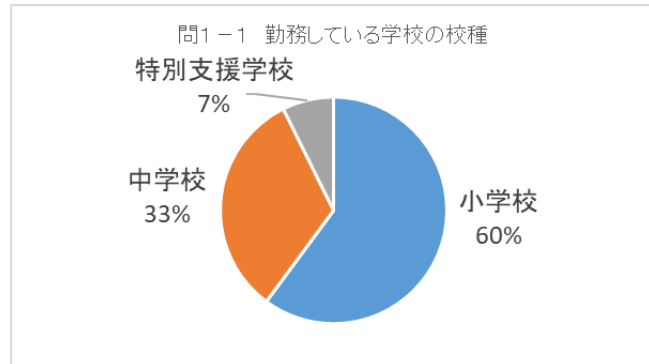
(8) 少子化における学校数(配置)について 【問 5-1】【問 5-2】

- ①「2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(45%)がもっとも多く、2 番目の「1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(40%)と合わせると、学校再編に肯定的な回答が8割を超える。
- ②一方で、「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も14%ある。
- ③「今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」と回答した理由は、「学校は地域の活動拠点なので」(31%)がもっとも多く、2 番目が「2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる」(25%)となっている。

6 調査結果

問1ー1 あなたが勤務している学校の校種を教えてください。

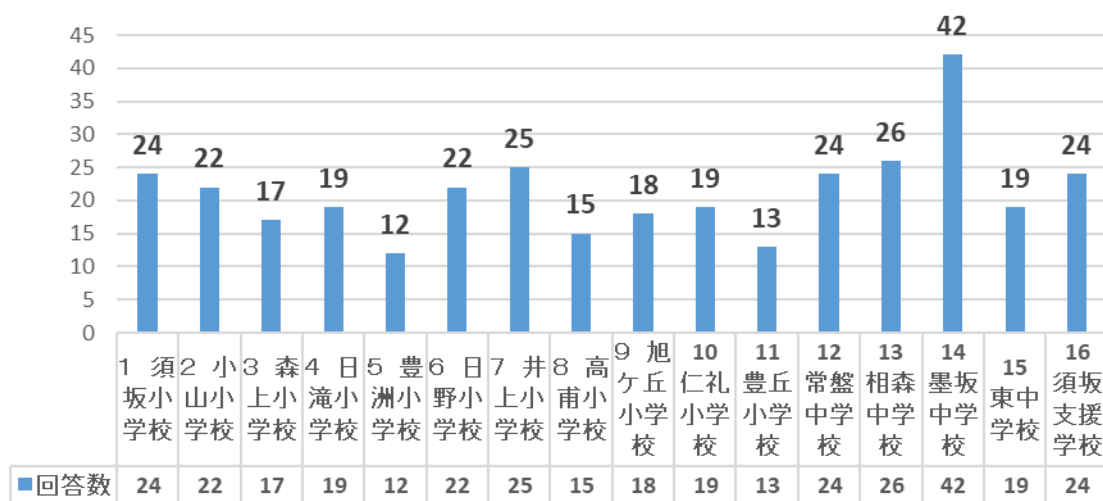
	回答	構成比(%)
小学校	205	60.1
中学校	111	32.6
特別支援学校	25	7.3
計	341	100.0



問1ー2 あなたが勤務している学校名を教えてください。

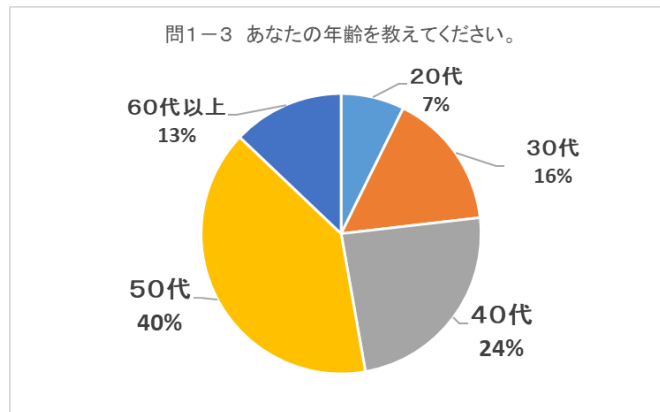
学校名	回答	構成比(%)	学校名	回答	構成比(%)
須坂小学校	24	7.1	常盤中学校	24	7.1
小山小学校	22	6.5	相森中学校	26	7.6
森上小学校	17	5.0	墨坂中学校	42	12.0
日滝小学校	19	5.6	東中学校	19	5.6
豊洲小学校	12	3.5	須坂支援学校	24	7.1
日野小学校	22	6.5	計	341	100.0
井上小学校	25	7.3			
高甫小学校	15	4.4			
旭ヶ丘小学校	18	5.3			
仁礼小学校	19	5.6			
豊丘小学校	13	3.8			

問1ー2 あなたが通っている学校を教えてください。



問1-3 あなたの年齢を教えてください。

	回答	構成比(%)
20代	25	7.3
30代	54	15.8
40代	82	24.1
50代	136	39.9
60代以上	44	12.9
計	341	100.0

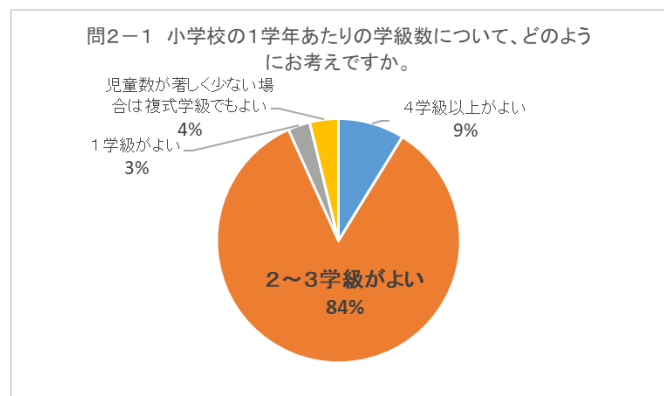


【考察】問1-3

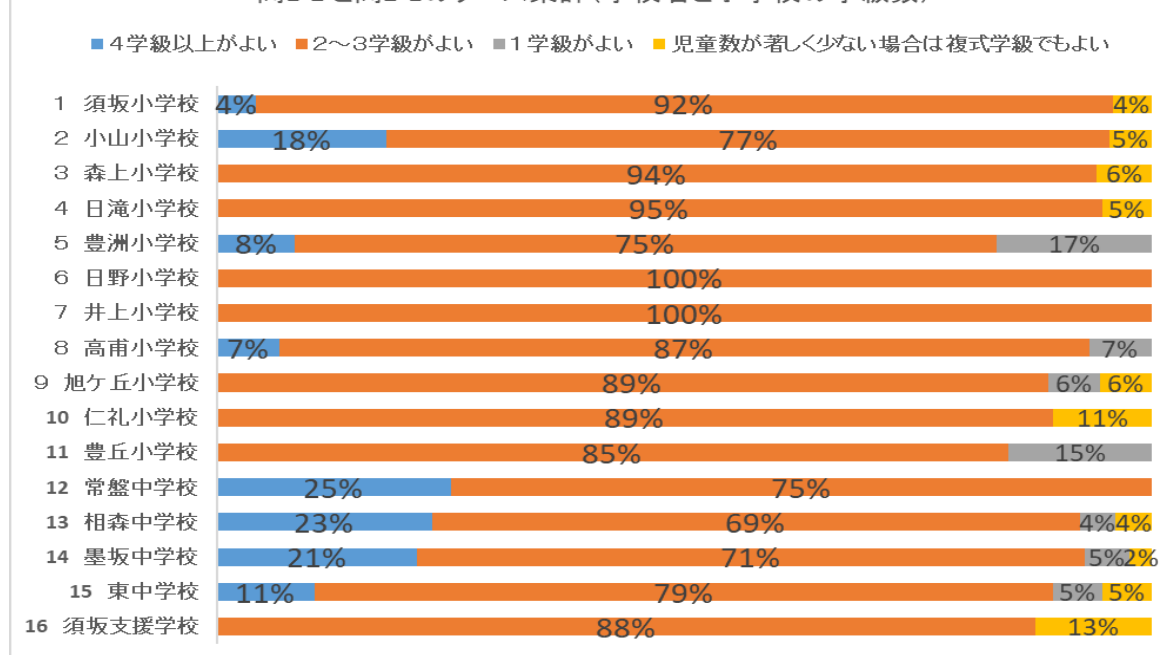
回答者の年齢は、50代(40%)がもっとも多く、2番目に40代(24%)、3番目に30代(16%)となっている。

問2-1 小学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
4学級以上がよい	30	8.8
2～3学級がよい	288	84.5
1学級がよい	10	2.9
児童数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	13	3.8
計	341	100.0



問1-2 と問2-1のクロス集計(学校名と小学校の学級数)



【考察】問2-1

- ①小学校の標準規模の「2～3学級がよい」(84%)との回答がもっとも多く、2番目が「4学級以上がよい」(9%)となっている。
- ②東中学校以外の3つの中学校では、「2～3学級がよい」に次いで、「4学級以上がよい」が2割程度ある。

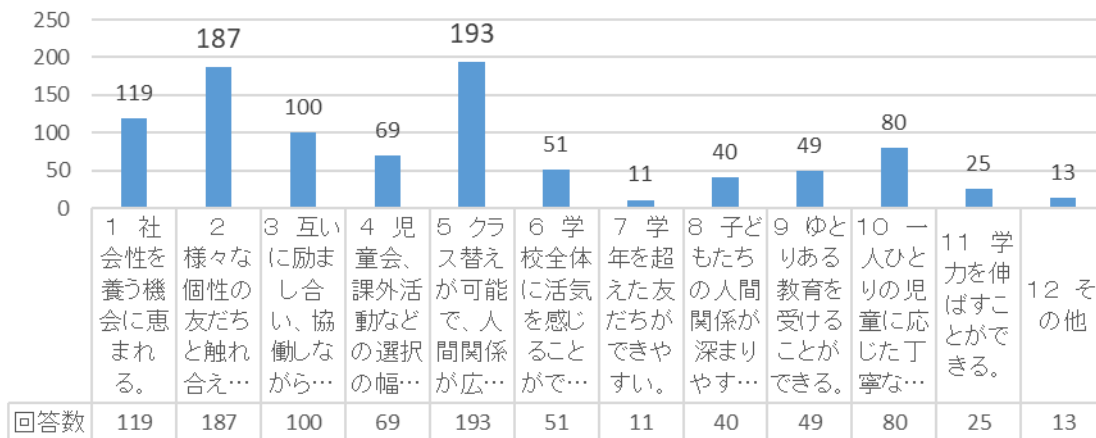
問2-2 「問2-1」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 社会性を養う機会に恵まれる	119	12.7
2 様々な個性の友だちと触れ合える	187	19.9
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	100	10.7
4 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	69	7.4
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	193	20.6
6 学校全体に活気を感じることができる	51	5.4
7 学年を超えた友だちがしやすい	11	1.2
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	40	4.3
9 ゆとりある教育を受けることができる	49	5.2
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	80	8.5
11 学力を伸ばすことができる	25	2.7
12 その他	13	1.4
計	937	100.0

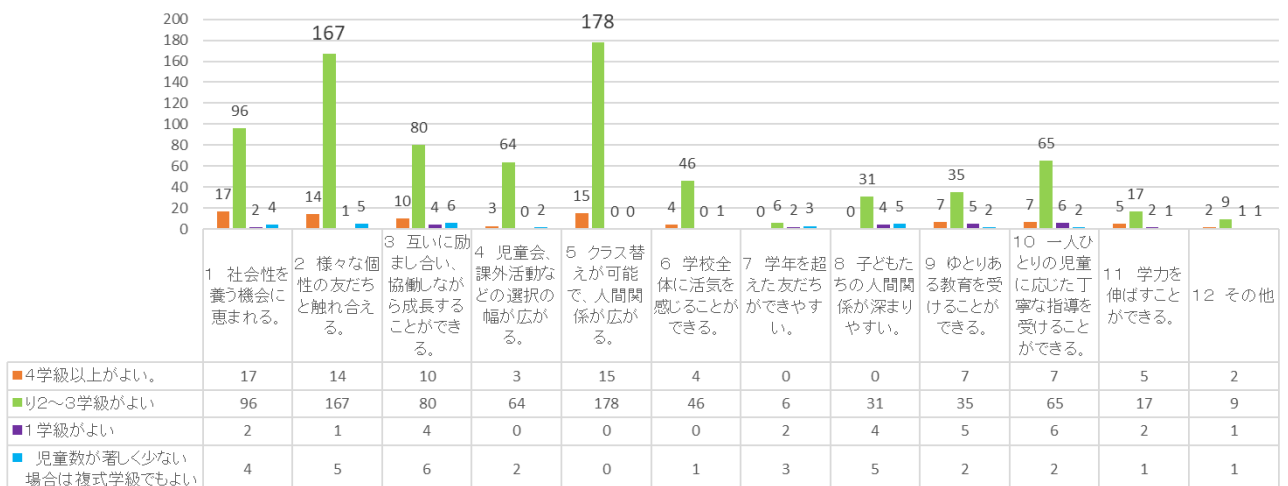
【12 その他の主な意見】

問 2-1 で「4学級以上がよい」と回答	
1	学年職員が多くなることで多様な教育が行える
2	一校における教員数の増加
問 2-1 で「2～3学級がよい」と回答	
1	4学級以上だと学年の人数が多すぎて学年の行事などが計画しづらいが、2～3学級ならば学年内で行事を計画したりクラスを越えて係活動に取り組ませたりすることができるから
2	単級だと担任の負担が重い。学年、二人か三人だと相談できるし、仕事も割り振れる
3	教科担任制など学年内で取り組むことができる。学年の仕事が分担できる
4	1 学年 1 クラスだと同条件での相談が出来なく、結果、教師の孤立
5	人間関係が固定され過ぎないように学級替えができると良い
問 2-1 で「1学級がよい」と回答	
6	これまであった学校がなくなると、その校区(地域)の活気がなくなる
問 2-1 で「複式学級でもよい」と回答	
7	先輩のよい姿が下の学年の子のよい手本になることがある

問2-2 「問2-1」でお答えいただいた主な理由



問2-1と問2-2のクロス集計(小学校の学級数とその理由)



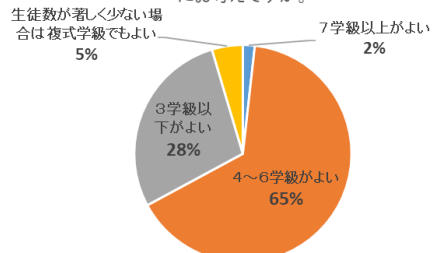
【考察】問2-2

①「2～3学級がよい」と回答した人の理由では、「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(178)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(167)、3番目に「1 社会性を養う機会に恵まれる」(96)となっている。

問2-3 中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

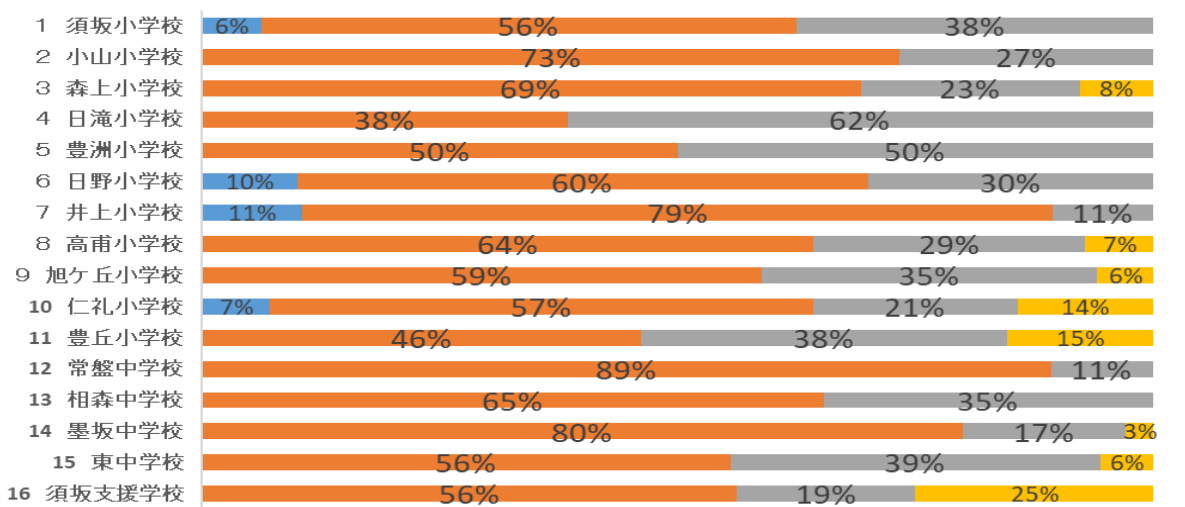
	回答	構成比(%)
7学級以上がよい	5	1.8
4～6学級がよい	185	65.4
3学級以下がよい	80	28.2
生徒数が著しく少ない場合は複式学級でもよい	13	4.6
計	283	100.0

問2-3 中学校の1学年あたりの学級数について、どのようにお考えですか。



問1-2と問2-3のクロス集計(学校名と中学校の学級数)

■ 7学級以上がよい ■ 4～6学級がよい ■ 3学級以下がよい ■ 4 生徒数が著しく少ない場合は複式学級でもよい



【考察】問2-3

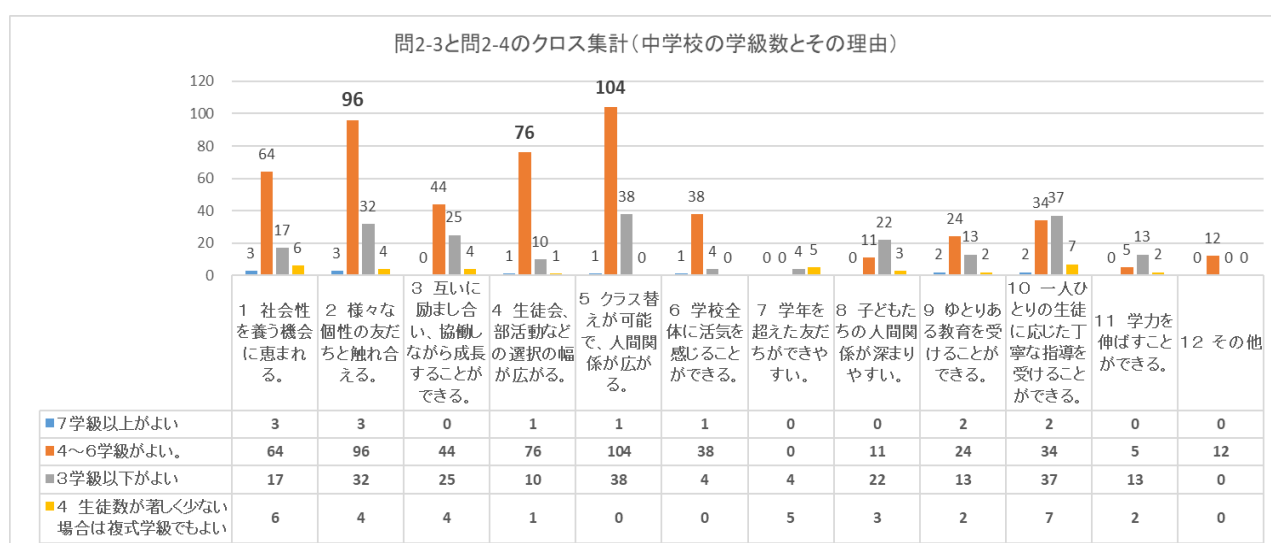
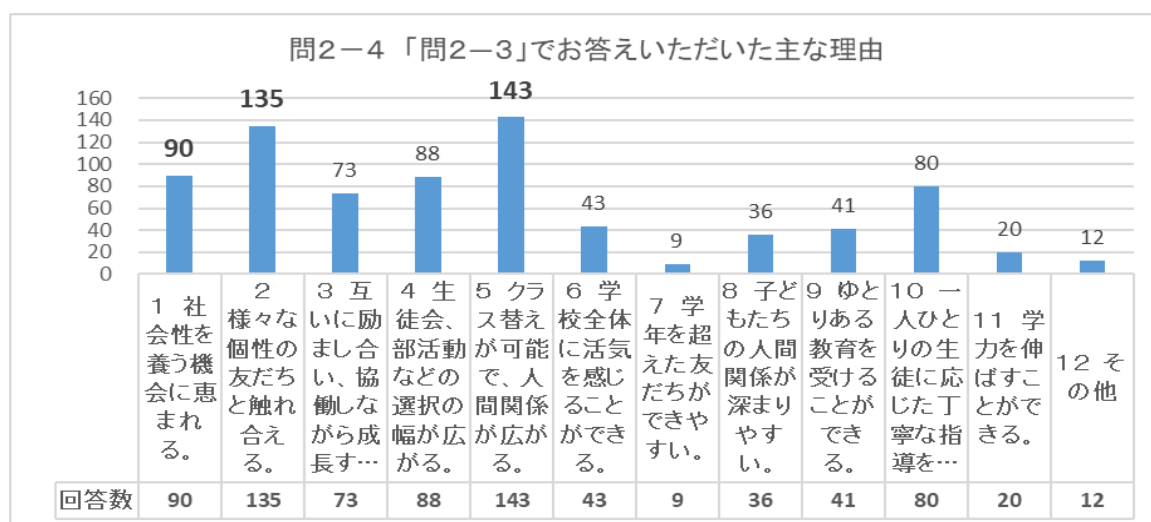
- ①中学校の標準規模の「4～6学級がよい」(65%)との回答がもっとも多く、2番目が「3学級以下がよい」(28%)となっている。
- ②仁礼小や豊丘小、須坂支援学校では「複式学級でもよい」との回答が他の学校にくらべて多い。

問2-4 「問2-3」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 社会性を養う機会に恵まれる	90	11.7
2 様々な個性の友だちと触れ合える	135	17.5
3 互いに励まし合い、協働しながら成長することができる	73	9.5
4 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	88	11.4
5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる	143	18.6
6 学校全体に活気を感じることができる	43	5.6
7 学年を超えた友だちがしやすい	9	1.2
8 子どもたちの人間関係が深まりやすい	36	4.7
9 ゆとりある教育を受けることができる	41	5.3
10 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	80	10.4
11 学力を伸ばすことができる	20	2.6
12 その他	12	1.5
計	770	100.0

【12 その他の主な意見】

問 2-3 で「4～6学級がよい」と回答	
1	学校規模を小さくしすぎると、教員数の関係で免許外授業を受け持つ先生が多くなり、負担増が予想される。
2	職員数が確保できる。
3	職員数が増え、生徒対応や校務分担に小規模校よりもある程度余裕が生まれやすいと思うから。
4	学年担任が取りやすい
5	職員一人あたりの負担軽減。組織としてのチーム力。
6	学級数が多いほどより多くの先生目で見えてやることできる
7	学級数は4から5学級が、いいと思っています。6クラスは厳しいです。学年職員が自分の学年の生徒全員を把握して指導でき、さらに学校として教科担任をきちんと配置できると考えます。



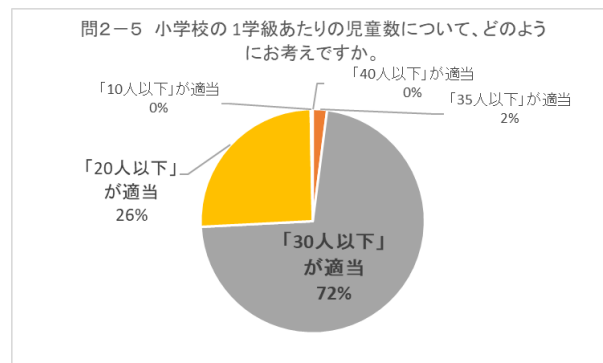
【考察】問 2-4

- ①「4～6学級がよい」と回答した人の理由では「5 クラス替えが可能で、人間関係が広がる」(104)がもっとも多く、2番目に「2 様々な個性の友だちと触れ合える」(96)、3番目が「4 生徒会、部活動など

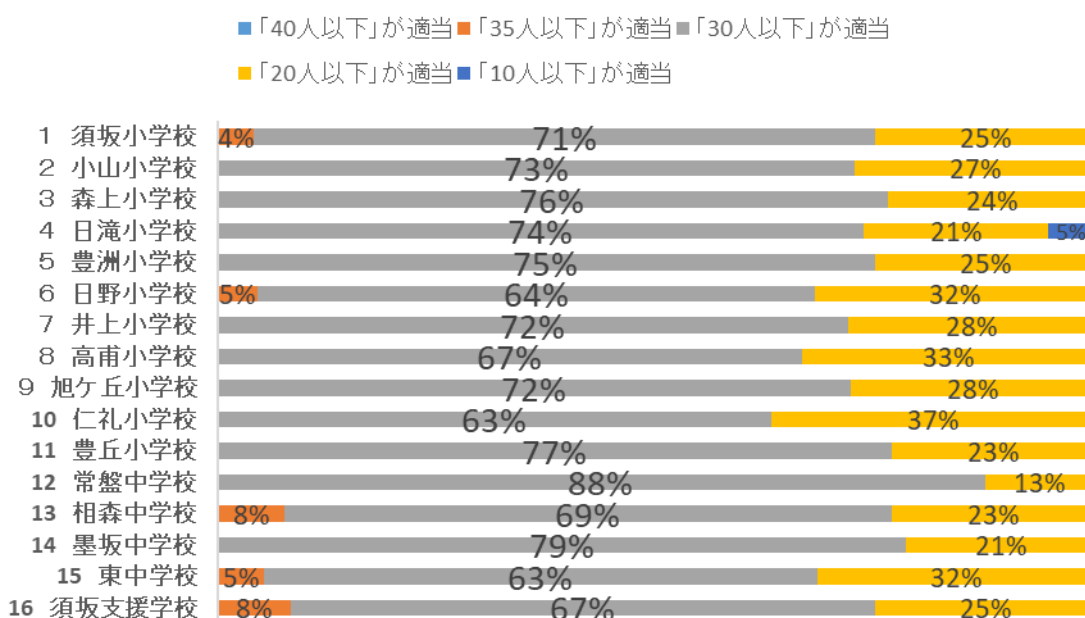
の選択の幅が広がる」(76)となっている。

問2-5 小学校の1学級あたりの児童数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40人以下」が適当である	0	0
「35人以下」が適当である	7	2.1
「30人以下」が適当である	246	72.1
「20人以下」が適当である	87	25.5
「10人以下」が適当である	1	0.3
計	341	100.0



問1-2と問2-5のクロス集計(学校名と小学校の1学級の児童数)



【考察】問2-5

①「30人以下が適当」(72%)との回答がもっとも多く、2番目が「20人以下が適当」(26%)、3番目が「35人以下が適当」(2%)となっている。

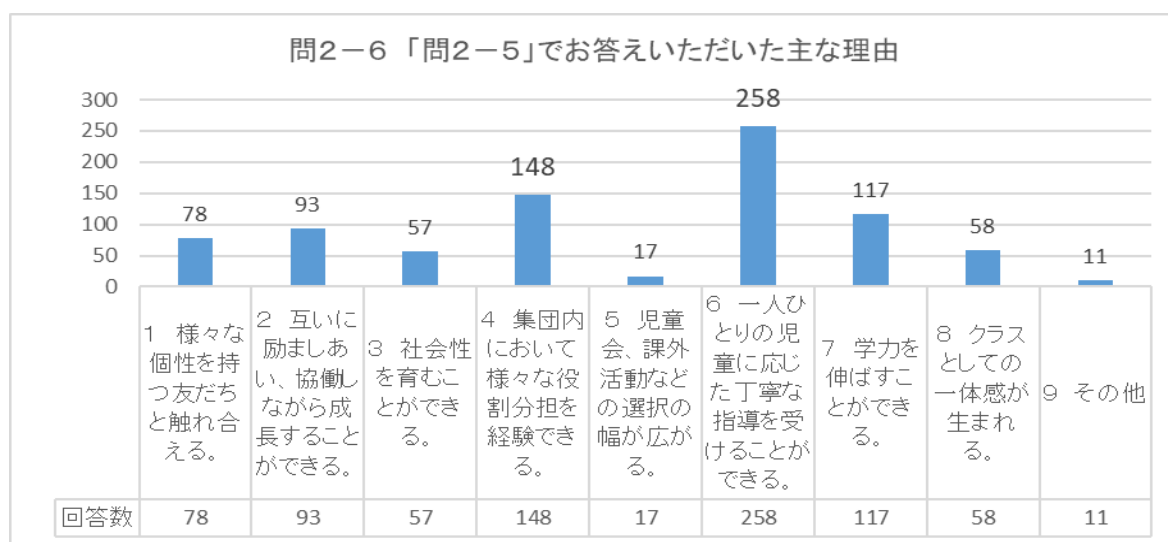
問2-6 「問2-5」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 様々な個性の友だちと触れ合える	78	9.3
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	93	11.1
3 社会性を育むことができる	57	6.8
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	148	17.7

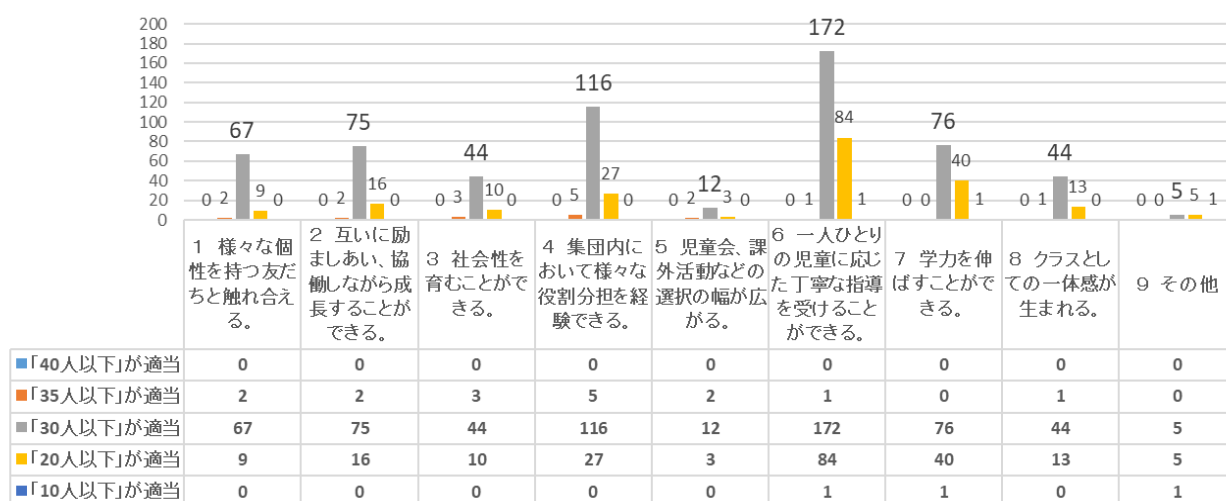
5 児童会、課外活動などの選択の幅が広がる	17	2.1
6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる	258	30.8
7 学力を伸ばすことができる	117	14.0
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	58	6.9
9 その他	11	1.3
計	837	100.0

【9 その他の主な意見】

問 2-5 で「30 人以下が適当」と回答	
1	多様な子どもに対応できる。
2	教師の目が一人一人に行き届き、丁寧な指導をすることができる。
3	特に低学年だが、給食などの準備で20人以下だと複数人の欠席などがあると準備に困難が生じやすい為
問 2-5 で「20 人以下が適当」と回答	
1	現在の人数では、個に応じた配慮を取ることが極めて難しい。クラスの実態によっては、担任が対応しきれないケースも少なく無いのが現状。
2	一人一人に時間をかけて個別支援をしていくには、30 では多すぎます。
3	文部科学省が唱える、個別最適な学びの実現に近づけられる。
4	現在の人数では、個に応じた配慮を取ることが極めて難しい。クラスの実態によっては、担任が対応しきれないケースも少なく無いのが現状。
問 2-5 で「10 人以下が適当」と回答	
1	少なければ少ないほど良い



問2-5と問2-6のクロス集計(小学校の1学級の児童数とその理由)



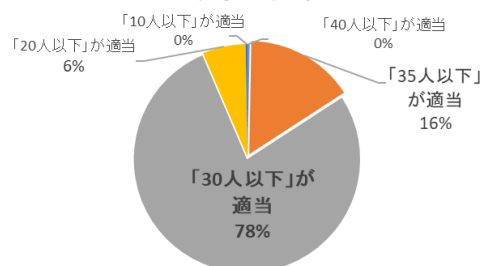
【考察】問2-6

①「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(172)がもっとも多く、2番目に「4 集団内において様々な役割分担を経験できる」(116)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(76)となっている。

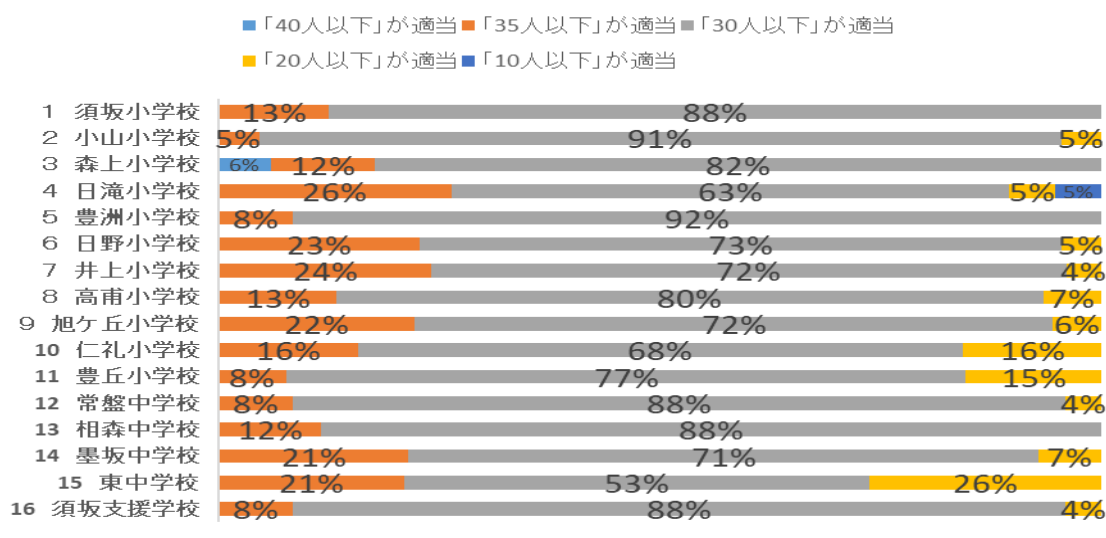
問2-7 中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
「40人以下」が適当である	1	0.3
「35人以下」が適当である	53	15.5
「30人以下」が適当である	265	77.7
「20人以下」が適当である	21	6.2
「10人以下」が適当である	1	0.3
計	341	100.0

問2-7 中学校の1学級あたりの生徒数について、どのようにお考えですか。



問1-2と問2-7のクロス集計(学校名と中学校の1学級の生徒数)



【考察】問 2-7

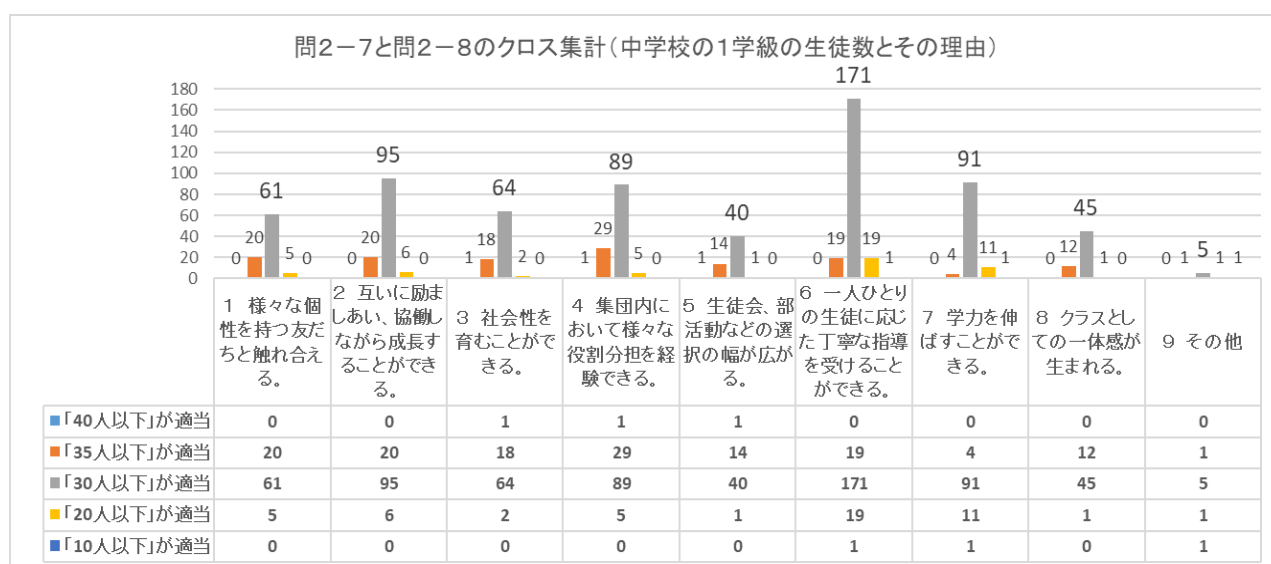
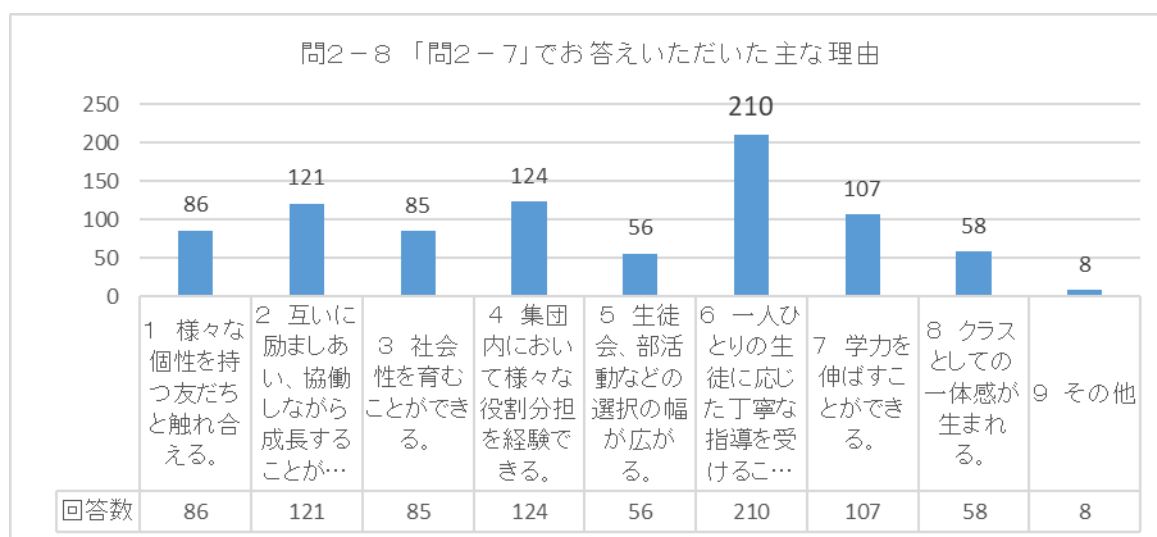
①「30人以下が適当」(78%)との回答がもっとも多く、2番目が「35 人以下が適当」(16%)、3番目が「20人以下が適当」(6%)となっている。

問2-8 「問2-7」でお答えいただいた主な理由について、お聞かせください。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 様々な個性の友だちと触れ合える	86	10.1
2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる	121	14.1
3 社会性を育むことができる	85	9.9
4 集団内において様々な役割分担を経験できる	124	14.5
5 生徒会、部活動などの選択の幅が広がる	56	6.6
6 一人ひとりの生徒に応じた丁寧な指導を受けることができる	210	24.6
7 学力を伸ばすことができる	107	12.5
8 学級(クラス)としての一体感が生まれる	58	6.8
9 その他	8	0.9
計	855	100.0

【9 その他の主な意見】

問 2-7 で「35 人以下が適当」と回答	
1	高校によっては1クラス 40 人いるので、ある程度的人数に慣れることも必要
問 2-7 で「30 人以下が適当」と回答	
1	多様な子どもに対応できる。生徒指導が丁寧にできる
2	担任としてゆとりができる
3	教師の目が一人一人に行き届き、丁寧な指導をすることができる
問 2-7 で「20 人以下が適当」と回答	
1	文部科学省が唱える、個別最適な学びの実現に近づけられる
問 2-7 で「10 人以下が適当」と回答	
1	少なければ少ないほどよい

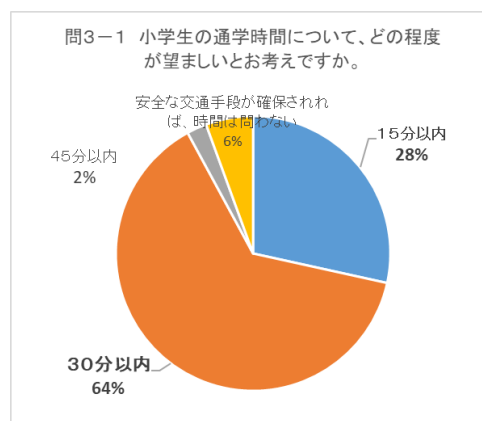


【考察】 問 2-8

①「30人以下が適当」と回答した人の理由では、「6 一人ひとりの児童に応じた丁寧な指導を受けることができる」(171)がもっとも多く、2番目に「2 互いに励ましあい、協働しながら成長することができる」(95)、3番目に「7 学力を伸ばすことができる」(91)となっている。

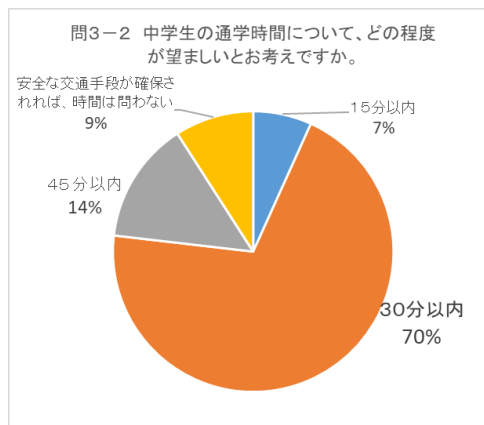
問3-1 小学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	97	28.4
30分以内	217	63.6
45分以内	8	2.4
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	19	5.6
計	341	100.0



問3-2 中学生の通学時間について、どの程度が望ましいとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
15分以内	23	6.7
30分以内	239	70.1
45分以内	48	14.1
安全な交通手段が確保されれば、時間は問わない	31	9.1
計	341	100.0



【考察】問3-1、3-2

- ①小学校でも中学校でも「30分以内」の回答が6割を超えもっとも多い。
- ②2番目は小学校では「15分以内」(28%)、中学校では「45分以内」(14%)となっている。

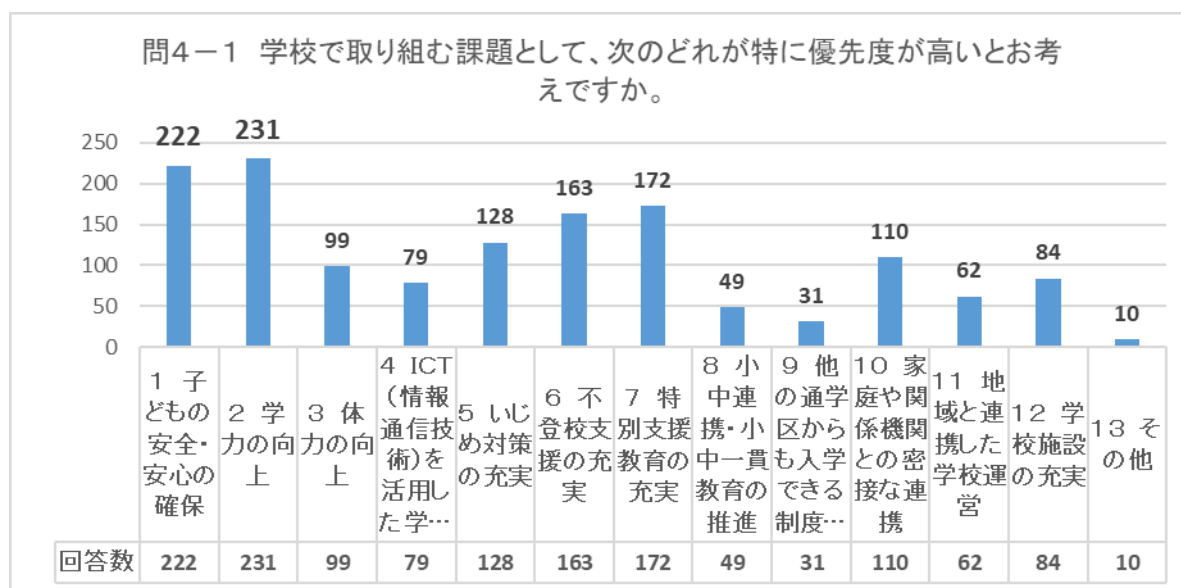
問4-1 学校で取り組む課題として、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大5つ選択)

	回答	構成比(%)
1 子どもの安全・安心の確保	222	15.4
2 学力の向上	231	16.1
3 体力の向上	99	6.9
4 ICT(情報通信技術)を活用した学習の推進	79	5.5
5 いじめ対策の充実	128	8.9
6 不登校支援の充実	163	11.3
7 特別支援教育の充実	172	11.9
8 小中連携・小中一貫教育の推進	49	3.4
9 他の通学区からも入学できる制度の拡大(特認校制度)	31	2.2
10 家庭や関係機関との密接な連携	110	7.6
11 地域と連携した学校運営	62	4.3
12 学校施設の充実	84	5.8
13 その他	10	0.7
計	1,440	100.0

【14 その他の主な意見】

1	支援員、職員の確保
2	子どもの心の教育とその環境整備
3	教員不足の改善
4	教員の人数増加
5	新たな教育観、学校観の浸透
6	保護者対応
7	業務軽減

8	子どもも教師も、お互いに安心して過ごせるような環境になっていくといい
9	校務を精選し、教材研究等の時間を十分に確保すること
10	一般常識の向上

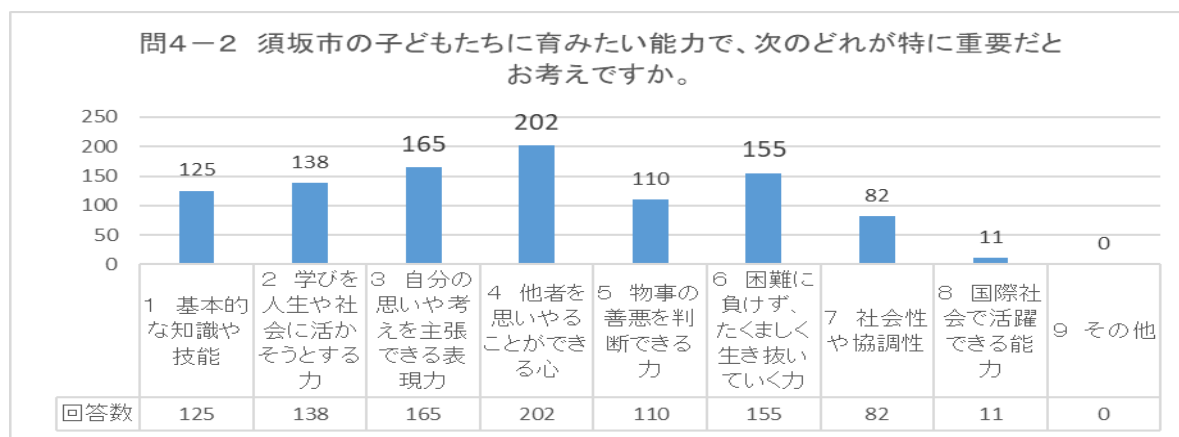


【考察】問4-1

①「2 学力の向上」(231)がもっとも多く、2 番目が「1 子どもの安全・安心の確保」(222)、3 番目が「7 特別支援教育の充実」(172)となっている。

問4-2 須坂市の子どもたちに育みたい能力として、次のどれが特に重要だとお考えですか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 基本的な知識や技能	125	12.6
2 学びを人生や社会に活かそうとする力	138	14.0
3 自分の思いや考えを主張できる表現力	165	16.7
4 他者を思いやることができる心	202	20.5
5 物事の善悪を判断できる力	110	11.1
6 困難に負けず、たくましく生き抜いていく力	155	15.7
7 社会性や協調性	82	8.3
8 国際社会で活躍できる能力	11	1.1
9 その他	0	0
計	988	100.0



【考察】問 4-2

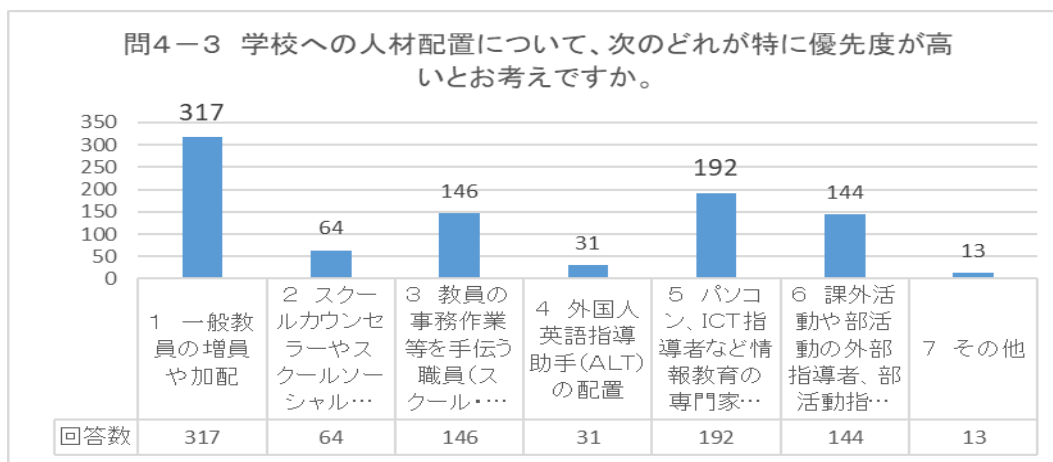
①「4 他者を思いやることができる心」(202)がもっとも多く、2 番目が「3 自分の思いや考えを主張できる表現力」(165)、3 番目が「困難に負けず、たくましく生き抜いていく力」(155)となっている。

問4-3 学校への人材配置について、次のどれが特に優先度が高いとお考えですか。(最大3つ選択)

	回答	構成比(%)
1 一般教員の増員や加配	317	35.0
2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置	64	7.0
3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置	146	16.1
4 外国人英語指導助手(ALT)の配置	31	3.4
5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置	192	21.2
6 課外活動や部活動の外部指導者、部活動指導員などの配置	144	15.9
7 その他	13	1.4
計	907	100.0

【7 その他の主な意見】

1	LD や境界知能の子たちの教室を各学校に一つ。自情障学級も、自閉タイプの子と多動や学習拒絶的な子では、対応が変わり、職員や対応のための部屋が不足します。要請があれば、職員の増員を柔軟にお願いできるといい
2	支援員の配置
3	療休などで急にお休みになった先生方がいた場合、早急に安定した支援体制がとれるような体制作りをお願いしたいと思います
4	小学校司書 1 学校に専任で毎日配置
5	1学期のみでもいいので、養護教諭のサポートに入ってもらえる人
6	教員補助員の増員や加配
7	特別支援教育のプロフェッショナルの配置。教室に入れない児童へも優しく受け入れてくださる、プロフェッショナル教員の配置
8	ボランティア
9	特別支援教育コーディネーター専任
10	民間企業経験の教職員の採用&配置

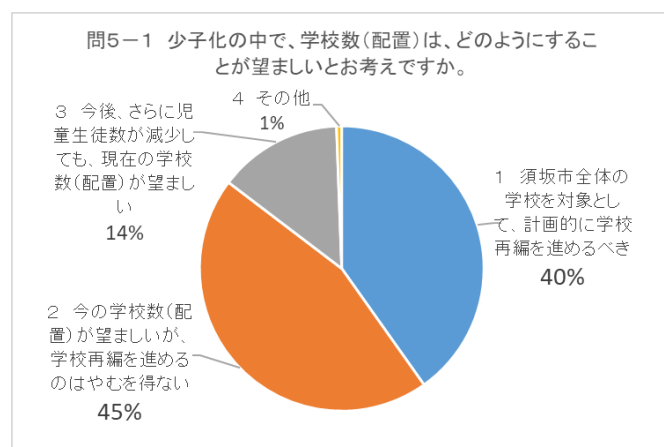


【考察】 問 4-3

①「1 一般教員の増員や加配」(317)がもっとも多く、2番目が「5 パソコン、ICT指導者など情報教育の専門家の配置」(192)、3番目が「3 教員の事務作業等を手伝う職員の配置」(146)となっている。

問5-1 少子化の中で、学校数(配置)について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき	137	40.2
2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない	154	45.1
3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい	48	14.1
4 その他	2	0.6
計	341	100.0



【4 その他の主な意見】

1	学校数を保ったまま、教員も増やし、それぞれの学校が特色を打ち出していく。一方で生徒は自分の能力を生かせるように学校を選ぶようにしていく
2	小学校はその地域のシンボリックな存在として残し、中学校は部活動や生徒会活動の選択の幅を広げたり、様々な生徒と関わることで人間関係を広げたりすることが大切だと思うので、再編も検討できるとよい

【考察】 問 5-1

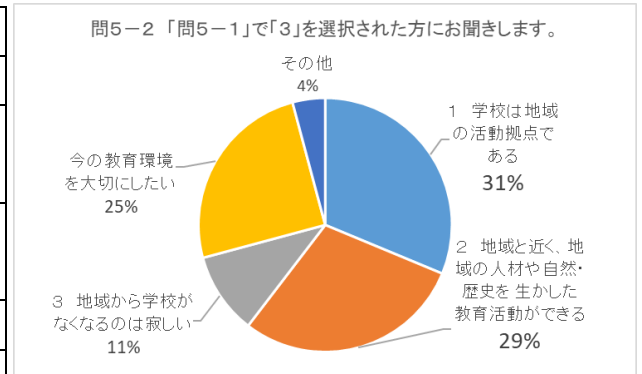
①「2 今の学校数(配置)が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」(45%)がもっとも多く、2 番目の「1 須坂市全体の学校を対象として、計画的に学校再編を進めるべき」(40%)と合わせる

と、学校再編に肯定的な回答が8割を超える。

②一方で、「3 今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」との回答も14%ある。

問5-2「問5-1」で「③」を選択された方にお聞きます。お答えいただいた理由として、次のどれが一番強いとお考えですか。(1つ選択)

	回答	構成比(%)
1 学校は地域の活動拠点なので	15	31.2
2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる	14	29.2
3 地域から学校がなくなるのは寂しい	5	10.4
4 今の教育環境を大切にしたい	12	25.0
5 その他	2	4.2
計	48	100.0



【5 その他の主な意見】

1	子どもの数は減っても学校業務は減らないから
2	クラス数を確保したい。

【考察】問 5-2

①「今後、さらに児童生徒数が減少しても、現在の学校数(配置)が望ましい」と回答した理由は、「学校は地域の活動拠点なので」(31%)と最も多く、2 番目が「2 身近な地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができる」(25%)となっている。

問6 その他、学校教育についてご意見等ございましたらご記入ください。(主な意見)

1 学校の適正規模等について	
1	●須坂市のよさ、強みを生かした学校づくり、特色ある学校づくりをさらに進めていきたい。障がいのあるなしにかかわらず、どの子ども地域の中で共に育つ姿を目指している須坂市の理念は素晴らしいと思う。通常の小学校と市立の支援学校が同じ校舎にある須坂小と須坂支援学校は、共生社会の担い手を育てる教育のモデルであり、全国に誇れる学校だと思う。両校で学ぶ子どもたちが、共にあるよさを生かした学校生活となるよう、施設面のさらなる整備をお願いしたい。 ●学校施設、設備を、学校だけで使うのではなく、地域の方の学びや余暇の場などとして使っていくことができるようなものとし、費用以上に活用される場所としていきたい。例えば、プールも、市の施設として温水プールを作り、学校の体育の授業のほかに、通年通して市民が健康づくりの一環として使えるようにするなど、学校という枠にはめず、生涯学習の面などからも施設の充実を図りたい。 ●県立高等学校の空いた施設を、小中学校が有効に使うことはできないか。また、県立と市立の壁を越えて、すざか分教室と須坂支援学校の連携をもっと強いものにし、小中高がつながる教育課程にしたい。
2	●現在の小学校は旧村に1校の設置なので、適正な児童数の規模や通学範囲になっていないので、旧村1校にとらわれることなく統廃合を含めた再編が必要と思う。 ●須坂支援学校は須坂小学校と校舎を共用しているため、交流の面では非常に有意であるが、元々は支援学校を想定した校舎の造りになっていないため、不具合も多い。利用しやすい教室や活動場所の増改築、校舎外も含めたバリアフリー化など環境整備を早急をお願いしたい。
3	学校再編等は、周辺の市を見ても、進めていかなければならない課題だと感じるが、今の教員の働き方で、未来の人材が本当に確保できるかは、難しいものもあると考える。教員の働き方等などの改革も合わせて、学校再編が進むと、良いのではないかと考える。
4	●どの学校も歴史と伝統があり、一部の学校だけを統合して適正規模にすることは困難である。だからといって、全く新しい学校を5校つくるというのは無理である。現在の学校の配置で、いくつかを間引いて5校程度に絞り、通学区を新しく線引きして、新設校として現在の校舎をできるだけ生かしていくのが一番現実的であるとする。 ●いつの時代でもなかなか手がつけられなかったツケがどんどん大きくなっているのので、ここで英断を下すべきである。
5	高甫小学校区域で東中学校に近い場合は、東中学校への進学を検討したかどうか？
2 教育方針や教育内容等について	
1	●LD や境界知能の子たちの教室を各学校に一つ。 自情障学級も、自閉タイプの子と多動や学習拒絶的な子では、対応が変わり、職員や対応のための部屋が不足します。要請があれば、職員の増員を柔軟にお願いできるといい。 ●以前に比べ、子供たちが多様化しており、通常学級の担任だけでは、対応しきれない。 ●学校にゆとりがない。ゆっくり学校生活も家庭生活も送れるような教育環境を、行政レベルや法規レベルで改善してほしい。
2	●今のままでは、1 学級の人数が多い単級が増えてしまう。理科専科の配置がなくなり、教員一人一人の負担が増していつてしまう。 ●社会性を育む上で、人数が少なすぎるのは、適切な関わりが学びにくくなってしまふ。以前にくらべ学習面や運動、芸術すべてにおいて子ども同士の切磋琢磨が薄まってしまっているようで、須坂市の子どもたちがどんどん井の中の蛙状態に陥ってしまっている感じがする。長野市への進学が増加している背景には、こうした状況が影響していると思う。

3	●各学校と校長に学校運営の裁量権を全て譲渡し、各校特色を全面に出した学校経営をおこなう。例えば、知識技能の獲得優先なら A 校、体験重視なら B 校、美術や音楽を伸ばすなら C 校のように。そして市内の家庭が自分の子どもの特性や親の希望と合致する学校を選ぶようにする。 ●登下校は、高齢者ドライバーを雇い、スクールバスを運行する。安全面と高齢者の雇用機会の確保も実現。学校ガチャ、担任ガチャなんて言葉がなくなるはず。子どもや親が受けた教育を受けたい教師から受けられるのが本来の公教育サービスなはず。子どもの数が減っているなら、それを生かして実現できるはず。子どもも親も教師も happy になる施策を作りたい。
4	●昨今のコロナ禍では、予測不可能な事態が起こっている。従来の概念を大きく変えていかねば、教員や児童生徒が教育活動を遂行することができないのではないのか。このようなコロナ禍においても受験生が十分に学ぶことができるよう、行事、課外活動の負担を減らしていったほしい。 ●教育上必要な教育課程の履修ができているかを教員、児童生徒の立場から再検討し、学校での活動を取捨選択をして、地域や保護者にも説明する責任があるように感じている。 ●地域、保護者のニーズに答えるだけでは、難しい課題もある。教職員の勤務時間、山積する業務など働く側の負荷を取り除き、仕事をシンプル化することは、教員不足の解決策にもなると思う。 まずは、必要最低限の学力を保証できるようにしていくことが教育現場の責務ではないだろうか。
5	●「今までの伝統を守る」という守りの教育から、「新しい社会を作る」という攻めの教育観に立って学校教育全体を見直し、変革していくことが急務であると感じます。須坂市はまだまだ「守り」の意識が強いと感じます。 ●中学校でも、生徒会を中心に生徒の考えを積極的に学校運営に取り入れ、当然失敗や軌道修正しながらも「社会は自分たちでより良い方向に変えていける」という経験を義務教育で十分させることで、一人ひとりの行動で社会をよりよくしていける人材を育てる必要があると思います。 ●これからの社会は大人も子供もともに案を出し合って協同で進めていかなければならないと感じます。
6	●時代の急速な変化と多様な家庭生活を送る子供たちに対する生徒指導の難しさが、教職員にいつそう多忙化させていることを感じます。そんな中、同僚性でチームでスクラムを組んで向かっている姿勢はとても素晴らしいと思っています。 ●仕事をもっと簡略化することも多分にあるように思います。事務的なことをできるだけ省略し、会合を少なくし、できるだけ生徒と接する時間を多くする、そして、生徒と接する中で生徒のためになる教材研究、生徒指導研修をしていけるようなシステムの構築を強く望みます。
7	●生徒指導事案が多くなってきていますが、家庭環境に問題があるケースも多いです。その際、学校としてできることがかなり限られる場面が多く、外部機関の力をお借りしたいことが増えて来ています。手厚い支援をお願いしたいです。 ●一人一台端末(PC)に関するトラブルも多いです。現場の率直な感想としては、「端末は配付したから、あとは現場で何とかしてくれ」と言われているような状況です。PC に詳しい学校職員にかなりの負担がかかっているの、こちらも手厚い支援をお願いしたいです。 ●我々も効率の良い働き方を工夫していかなければいけません、市としても最大限無駄を省き、学校現場に少しでもゆとりを与えて頂ければと思います。特に須坂市は、他郡市に比べても昔ながらの伝統を重んじている所があるように感じます。本校にも「不易流行」という額が掲げられていますが、どうも「不易」ばかりで、「流行」の意識が薄いように感じます。時代の流れに合わせ、無くしても良い会議や各種調査などを早急に洗い出し、

	力強いリーダーシップで働き方改革を実現していただきたいと思います。
3 地域と学校の連携	
1	●多様な社会になり、子どもと向き合い教育活動に専念できるように、業務改善、教職員の加配が必要であると思います。 ●部活動の地域移行を須坂市で進めてほしいです。
4 家庭と学校の連携	
1	●あまりにも多様な児童が多く、一斉指導が難しくなっている。児童と教師の温度差が激しい。家庭の協力が薄い。一生懸命やるほど報われない。などの課題が見受けられます。もちろん、「やってよかった。」と思えることもたくさんありますが、現場は大変であるということを強くお伝えしたいです。 ●5 月から療休に入った職員(2 名)の補充を皆で行っていますが、とにかく空き時間がなく、余裕のない状況です。空き時間と言っても、授業準備の時間。一週間分の準備を土日に行うこととなり、肉体的にも精神的にも、限界な状態で日々を何とか過ごしている状態です。 可能な限り、一日も早く、減った分の職員の補充をお願いいたします。または、余分に働いた分の給与の増額を願います。
2	家庭の教育力が低下しています。学校現場では個別の対応が求められています。業務をスリム化し効率よく、また柔軟に対応できる時間と余裕がなければ教員は疲弊してしまいます。教員の負担減を願っています。
5 教員の負担軽減や人材配置について	
1	通常学級で一緒に学習することは困難だが、特別支援までもいかないという児童への対応。職員数が足りなく手が回りません。担任以外に自由に動ける職員を配置してほしいです。
2	現場職員の家庭も核家族化していて、こどもを育てながら働くか辞めるかの選択肢を迫られる女性職員もいます。もっと男性職員も家事育児に関われるような対策や、業務軽減のために職員を増員してほしいです。
3	●教員を増やし、負担を減らしてほしい。また、仕事内容の精査が必要。 ●勤務時間削減といっても、仕事量が多くて処理しきれない。
4	●小学生 1 年生には、クラスに常時 2 名の「教員」がいるように加配していただきたい。(加配といっても申し訳ないですが、支援員の方は免許を持っていない人もおり、子どもを甘やかすすぎたり、逆に口うるさく注意しすぎる方もいて、支援員さんでは難しいこともあります。支援員さんも教員ではないからと遠慮をし、ただその場にいるだけになってしまう時も多いです。) ●子どもがすんなりと自分の気持ちを言えることは少なく、担任 1 人だと、どうしても流れに乗れない子どもを放置したり、威圧して管理したりする方に走ってしまう。教員がもう 1 人教室にいたら、気持ちを聞くことができるので、その子の気持ちを立て直し、活動に参加させるように促せたりする。(活動に参加できたら、子どもたちにより多く「できた」を経験させてあげることができる。) ●園や家庭環境の差によって、基本の生活の仕方や、学力にも差がありすぎて、担任 1 人では無理です。 ●1 年生に限らず、大変なクラスには加配をすぐに配置できるようにしていただきたい。もしくは、1 クラスを 20 人くらいにいただきたい。教育にもっと予算をかけてほしい。 ●担任2人体制にすれば、空き時間が増え、幼稚園や保育園、中学校へ参観できる機会も増え、幼保小連携、小中連携をスムーズに行うことができる。 ●とにかく、現場は人材が足りなく、誰かが休むと綱渡りの状態である。このような状態

	が続くと、教材研究の時間もままならず、子どもたちの学力を上げるどころか、家庭や心体を犠牲にしなから働く教員の善意が尽きた時に、今以上に教員が足らなくなる可能性が目に見えている。現に、今教育現場にいるけれど、義務教育に限界を感じており、教育から離れることを考える日々である。 ●画一的な枠組みはなくなっていないのに、個性を大切に、と矛盾している。個性を大切にするには、この時間の枠組みではできないし、人材も足りていない。どうか、学校教育の枠組み、教員の人数など、今一度立ち止まって改革していただきたいです。須坂市モデルを作っていただきたい。教員も子どももゆとりがあり、笑顔が増える学校現場にしたいです。よろしくお願いいたします。
5	●教員の働き方改革が言われ、働く側からのアプローチは、たくさん言われている。しかし、そこに児童、生徒の側からのアプローチが少ないように感じる。部活等についてもそうである。 ●働き方改革は、必要だと思っているが、色々な方向(特に子ども達)から考えた方が良い。
6 学校施設等について	
1	●市立の特別支援学校が須坂小学校に併設されており、両校の子どもたちが日常生活を過ごしたり、共に活動をしている環境のなかですばらしい学び・育ちがあると感じている。これを大切にしていきたい。 ●施設・設備面では併設故の苦しさ(教室不足)が大きい。「共にある学校」のよさを持続・発展していくために、増築やエレベーター設置等の施設面での改善をぜひお願いしたい。
7 その他	
1	子供たちの学校以外の居場所を作って欲しい。